

地域教育
情報紙(24年度)
第2号

風と花

平成24年6月20日発行
＜担当＞富士・東部教育事務所
地域教育支援スタッフ
石井基晴・立川 博
高野 修・杉田 眞

富士・東部地域教育の様々な活動、情報等を掲載し、地域教育の「横の連携」と「縦の接続」を目指す富士・東部教育事務所が発行する情報紙です。年に8回程度の発行を予定しています。



◇ [富士吉田地区小中高連携連絡会議 (5月14日)]

主催：南都留地域教育推進連絡協議会

本年度も小中高連携連絡会議において、「不登校児童生徒への養護教諭の対応について」というテーマで養護教諭の研修と情報交換を行っていくことが確認されました。6月28日(木)には第1回的小中高連携養護教員部会として富士吉田市立教育研修所の自立支援指導員、土屋幸治先生にお話を頂きます。

◇ [都留青年会議所の『第5回ちびっこ海外使節団』事業]

一般社団法人都留青年会議所は、2012年3月21日～27日に『第5回ちびっこ海外使節団』事業として、小学4年生～中学2年生18名、引率7名により、都留市の姉妹都市であるアメリカテネシー州ヘンダーソンビル市を訪れました。現地では、学校訪問や一般家庭へのホームステイを通して、市民との様々な交流を深めたとの報告をいただきました。



今年、日米友好の「桜の寄贈」100周年の節目に当たり、ヘンダーソンビル市でも100年前に送られた桜の子孫にあたる苗木の植樹式が行われました。使節団もこの式典に参加することができ、国際交流、更なる友好関係に貢献することができたようです。

都留市とヘンダーソンビル市は姉妹都市として30年以上の歴史があり、両市とも民間の立ち上げた友好委員会が中心となり、学校・行政・民間が連携した交流等により友好関係を築きあげてきたとのこと。

以上の内容等について、この事業の団長であり、都留青年会議所理事長の山口晶之様からお話を伺いました。



◇ [シオジ森の学校]

シオジ森の学校のオープンキャンパスが4月21日(土)に大月市総合福祉センターで行われました。学校の講座として、5月19日(土)に「シオジ材のクラフト 間伐に挑戦しよう」、5月21日に「シオジの苗木植樹と小金沢シオジ森の散策」が開設されました。

シオジ森の学校は、県有林内の「小金沢シオジの森」をはじめとする北都留地域の優れた自然を次の世代に受け継ぐために、小・中・高校生及び一般市民を対象に、森の重要性と森のかかわり等を学ぶことを目的としています。

真木の奥、大峠の駐車場から更に車で20分程入った、「小金沢シオジの森」を先日歩き、あらためて人間も自然の一部であることを意識させられました。

みなさんも、普段はなかなか入ることができない、「小金沢シオジの森」の豊かな自然に触れ、その素晴らしさを体験してみたいかがででしょうか。



◇ [やまびこ支援学校で第33回運動会、オープンスクール開催]

5月26日(土)にやまびこ支援学校で運動会が行われました。校内に足を踏み入れると、子どもたちの明るい元気な“おはようございます”のあいさつが聞こえてきました。生徒88名(小学部29名、中学部14名、高等部45名)一人ひとりが主役になって、持てる力を精一杯出して取り組んでいる姿が感動的でした。児童・生徒、保護者、教職員が力を合わせての盛大な素晴らしい運動会でした。

6月5日(火)にはオープンスクールが行われました。「ゆうあい会館ホール」での全体会において、根岸洋一校長のあいさつの後、学校概要・各学部説明がありました。全体会后、4グループに分かれての校内見学・自由見学があり、子どもたちが一生懸命に学習に取り組む様子、先生方の熱心な指導の様子を見ることができました。

◇ [高校生インターンシップ推進事業(5月28日)]

5月28日に各校のインターンシップ担当者、山梨労働局並びに県中小企業団体中央会、県生活衛生営業指導センター担当者、各地区ハローワーク担当者、県産業労働部担当者、各教育事務所担当者、高校教育課担当者の第1回地域会議が開催されました。地域分科会では、各校からインターンシップに関する様々な教育実践が発表され、勤労観、職業観を育成するために学校全体で取り組んでいる内容等が紹介されました。

山梨県教育委員会高校教育課では、平成16年度より、高校生インターンシップ推進事業を実施しています。この事業は、高校生が地域の産業や経済社会に直接触れ、勤労観や職業観を深めることを目的にしています。

現在、富士東部地域においても、数多くの企業・事業所のご協力をいただく中で、インターンシップに多くの高校生が参加しています。参加した高校生にとっては、日常の学校での学習とは全く違う環境での体験で、自身の将来を考える絶好の機会となっています。また、実施校からの発表によると、その後の生徒の学習に対する姿勢にも積極性が見られるなどの効果が表れているようです。

推進事業が始まった平成16年度以降の、参加高校数、参加生徒数、受入事業所数は右表のとおりです。

年度	高校数	生徒数	事業所数(のべ数)
H16	19校	1146名	537事業所
H17	23校	1677名	757事業所
H18	25校	1793名	810事業所
H19	25校	1801名	834事業所
H20	25校	1954名	852事業所
H21	24校	1856名	812事業所
H22	22校	1945名	911事業所
※H23	22校	2083名	915事業所

※ H23年度のみ、市立高校2校を含む。

今年度の富士・東部教育事務所のスタッフ

所長 : 野尻 正人
副所長 : 小笠原 幸夫
次長 : 舟久保 貢
総務 : 井出 聡 小林 力 堀内 大路
学校教育 : 赤澤 守夫 宮下 俐 小林 誠二 土屋 実 大場 卓
地域教育 : 石井 基晴 立川 博 高野 修 杉田 眞
ことぶき勸学院 : 小池 恒正 浅沼 茂夫 橋本 幸子
ことぶき勸学院大学院 : 三枝 康治
スクールソーシャルワーカー : 渡辺 実子 早川 由美子

